



さかそう通信

Sakaso

執筆・印刷
上甲 誠 (じょうこうまこと)
無所属 (1973 年阪南市生まれ)
市政相談所: 〒599-0224 阪南市舞 4-30-2
電話 072-474-9211 メール m.j@mac-joe.net
ブログ http://mac-joe.net/

「ともにさかそう 笑顔とお互いさまのまち 阪南」～ 自分を取り巻く人や自然などの環境と繋がり、互いに慈しみ、思いやり、感謝し、自らができる役割を担いながら【お互いさま】、市民や各種団体、事業者、市役所が協働して【ともに】、市内に花を咲き誇らせ、緑を大切に自然を守る【花を咲かせる】、産業や地域資源を活かしてまちを発展させる【まちを栄かせる】、人(人財)を大切に【人を咲かせる】ことにより、市民みんなから笑顔がこぼれる【笑顔を咲かせる】まちにしていこう～「さかそう通信」お届けします。

こんにちは。市議会議員の上甲です。
市政報告書「さかそう通信」第46号をお届けいたします。昨年9月の市議会議員選挙を終え、新たな議会構成なども決まり、無事に12月議会も終えました。
4期目となり、私自身一層身を引き締めて「阪南市を良いまちにするため」精進してまいります。市民の皆様におかれましては今後ともご指導ご鞭撻いただきませう、よろしくお願い申し上げます。

これから1年の議会構成

議長 岩室議員

副議長 中村議員

監査 山本光男議員

総務事業常任委員長 二神議員

厚生文教常任委員長 畑中議員

議会運営委員長 角野議員

以上になります。よろしく申し上げます。

新しい会派構成

会派構成も左のようになりました。

大阪維新の会 ◆ 角野議員 渡辺議員

百々議員 山本光男議員

公明党 ◆ 二神議員 山本守議員

福田議員

市民くらぶ ◆ 岩室議員 浅井議員

岡議員

創生会 ◆ 畑中議員 中村議員

無党派の会 ◆ 上甲 誠 見本議員

以上です。

12月議会報告

一般質問を行いました

12月議会では、11人の議員が一般質問を行いました。私もトップバッターで質問をさせていただきました。

質問内容は「阪南市のまちづくりにおけるメインターゲット(主目標)目線で見ると将来ビジョンについて」です。阪南市は令和3年3月に定めた第2期総合戦略で、まちづくりのメインターゲットを次のように決めました。

第2期総合戦略:
子育て世代(特に30歳代の働く女性)をメインターゲットに設定いたします。



これを踏まえ、阪南市を子育て環境、教育、加えてシニアプロモーションや商業、農水産業、観光、および住民自治など様々な角度から質問を行い、答弁は、「いずれの事業においても、市の子育て施策における魅力発信となるよう取り組む。」と前向きなものでした。しかし、1点納得のいかない部分がありました。それは、12月議会で上程された次の議案についてです。

留守家庭児童会

年1万2千円値上げ

この議案に対しては、
(1) 阪南市の子育て世代に寄り添うとしたビジョンに合っていない。

(2) 現在進めている行財政構造改革プランにおいて、留守家庭児童会について「利用料の値上げ」との記載はなく「効率的な事務執行」という説明のみでは不足である。

(3) 受益者負担の公平性については、他施設を含めて、もっと先に取り組むべきことがある。

(4) 支援員の処遇改善は、指定管理者を決定するときに取り組んでおくべきである。

以上の理由から「反対」をさせていただきます。この議案について反対したのは私だけで、12対1で議案は可決されました。賛成者の理由の主なものは「支援員の処遇を改善し、持続可能な保育環境の構築」「保護者に過度な負担にならないように配慮」でした。

私自身としては、これからも決して行財政構造改革のスピードは弱めることなく、ビジョンに沿い、子育て世代に寄り添い、市民の声に耳を傾ける議員でありたいと思います。

上甲誠ブログ 人こそ街な



ほぼ毎日更新中！

<http://mac-joe.net/>



阪南市のお得情報、イベント、
こんなこと知りたかった、満載！！

上甲誠市政報告座談会 さかそう会

【毎月】2回開催しています。

1月15日(土) 10時
あたごプラザ「ホール」

2月5日(土) 10時
箱作西住民センター

2月19日(土) 10時
あたごプラザ「ホール」

市政相談・お問い合わせ

お気軽に

上甲誠市政相談所



お待ちしております！

大阪府阪南市舞 4-30-2

電話 072-474-9211

メール mj@mac-joe.net

行財政構造改革プラン

改訂版のこれから

後半では現在進行中の「行財政構造改革プラン改訂版」のこれからについて、私からの提案も含めてお伝えします。

平成30年(2018)に行財政構造改革プランを定め、行財政改革を進めてきましたが思うようにいかず、令和3年(2021)2月に財政非常事態宣言を发出。そして9月に「行財政構造改革プラン改訂版」として再出発いたしました。

その改訂版では5年間の財政シミュレーションを15年間のシミュレーションに延ばし、令和18年(2036)には約100億円の効果を生み出し黒字を堅持するというものでした。その効果額の主なものは、人件費の削減(51%)、ふるさと納税(19%)、事務事業の見直し(18%)、企業誘致(9%)、公有地売却(3%)です。



旧尾崎公民館

今回はそれらの中で効果の割合は低いですが、とても大切な「公有地売却」に絞ってまとめます。
今回の改訂版で大きく今までと変わった点は、具体

	売却に向け取り組む施設	利活用を検討する施設 (未活用の場合は売却)	その他
短期的取組 (~2024)	・旧尾崎公民館 ・幼稚園予定地3か所 (箱の浦、光陽台、緑ヶ丘) ・尾崎保育所 ・旧尾崎法務局跡地	・駐輪場(尾崎)	
中期的取組 (~2031)	・旧はつめ幼稚園	・尾崎幼稚園 ・朝日幼稚園 ・市営プール	・住民センター(43箇所)の地域移譲 ・子育て施設の再構築
長期的取組 (~2036)	・清掃庁舎予定地(鳥取中)	・旧尾崎中学校 ・旧下荘小学校 ・旧東鳥取小学校及び隣接する公共施設	・学校の整理統合と留守家庭児童会の削減

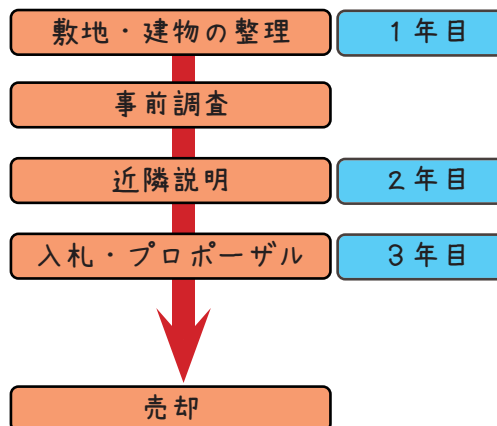
行財政構造改革プラン 公共施設の対応

的に公有地の利活用・処分についてスケジュールを定めた点で、この部分については大きく評価をしたいと思います。

右表をご覧ください。

この表を見ると令和6年(2024)までに旧尾崎公民館や幼稚園予定地な

ど売却に向けて取り組む、となっております。市役所前にある駐輪場についても利活用を検討する、となっております。
ここからが大切で、3年後、この短期的取組を完遂しようとする、まさしく今からでもスタートしなければならぬことが多くあります。



もつとも重要なことは、当該地の近隣の皆様、地元関係者の皆様に説明を行い、様々な意見をいただきながら、決して拙速にならず丁寧に進めることです。私もきめ細やかな情報発信に努めます。

最後までお付き合いいただきましてありがとうございます。

これからも一生懸命頑張ります。ブログ・後援会も含めて、今後ともよろしく願います。

阪南市議会議員 上甲 誠